QH-00-09-499

２０２５年１０月

トップマウント88/150
施工マニュアル

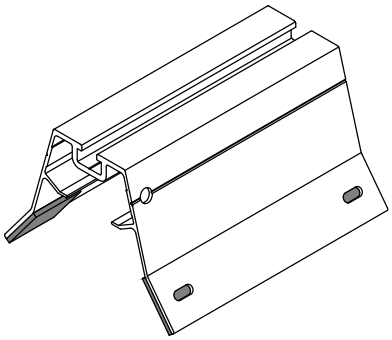
販売店・工事店様用

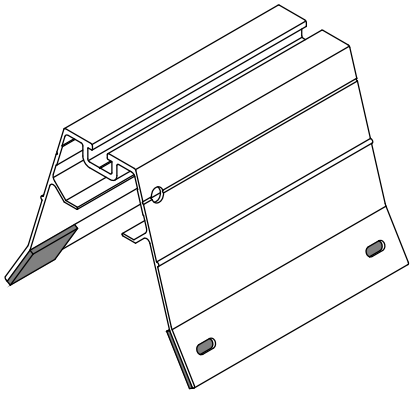
もくじ

１．架台・・・・・・・・・・・・・・・・・・p1
２．トップマウント88/150・・・・・・・・・p2

◆ 仕　様 ◆

太陽電池モジュール	横置
ベタ置き	





設置工事をされる方へお願い

■据付工事を始める前に据付工事説明書、施工マニュアルをよく読み、正しく安全に据付けてください。
■据付け強度を確保するため、施工マニュアルの据付方法を守ってください。
■据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。（第２種電気工事士の資格必要）
　●据付工事は高所（２ｍ以上）作業で転落の恐れがあります。また、感電のおそれもあるため、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
　●コーキング材を使用する場合、保護眼鏡、保護衣、保護手袋など適切な保護具を着用してください。
■取付け部材は、必ず付属品を使用してください。
■本施工マニュアルは支持部材のみの施工マニュアルとなります。
■建築強度については考慮されていないため、販売店様、施工店様にてご確認ください。

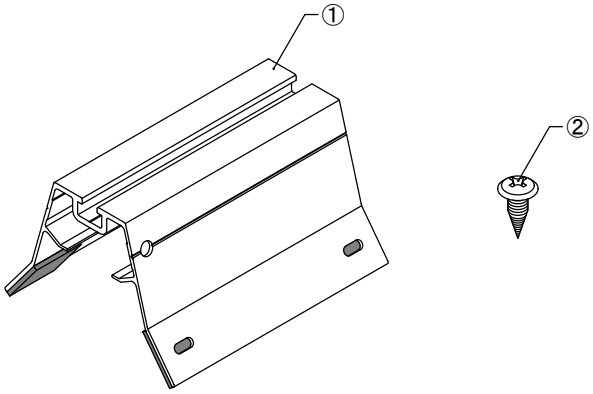
株式会社 屋根技術研究所

１．架台

１）支持部材

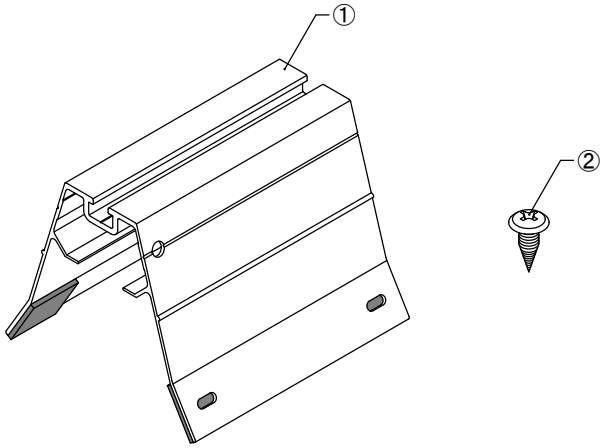
①トップマウント88折板用セット

	品名	数量
①	トップマウント88折板用	1
②	専用ネジ4.0×12	4



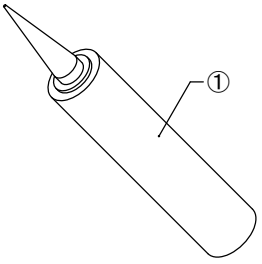
②トップマウント150折板用セット

	品名	数量
①	トップマウント150折板用	1
②	専用ネジ4.0×12	4



③コーキング

	品名	数量
①	コーキング	1



※金具80個／本

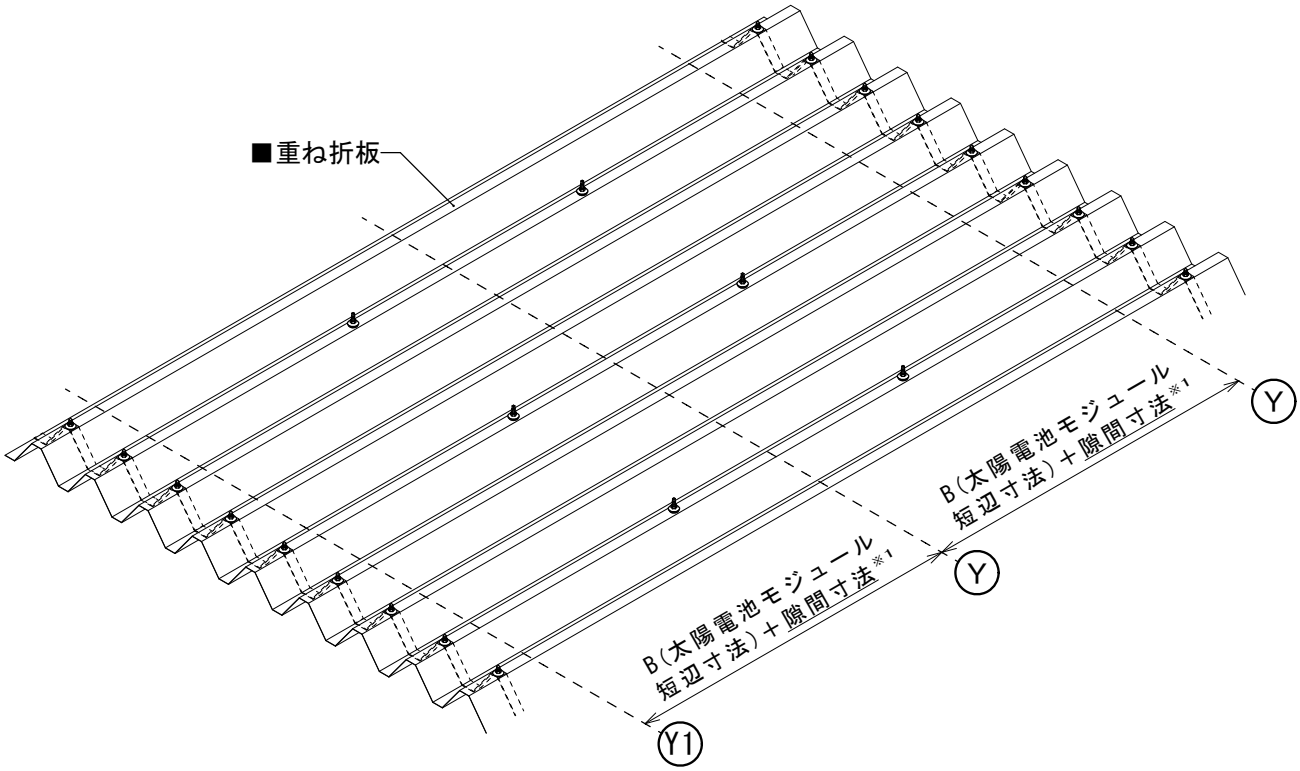
２．トップマウント88/150

１）トップマウントの取付け位置の墨出し

① Y1ライン：軒側1段目のトップマウントの端

② Ｙライン：Y1ラインより B(太陽電池モジュールの短辺寸法)+隙間寸法※1

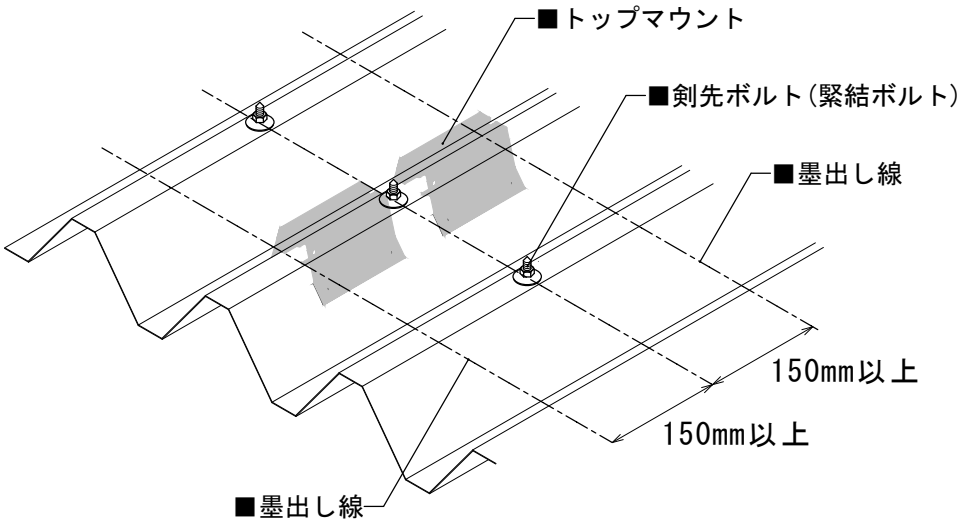
上記の順に墨出しを行います。



※1.隙間寸法は工法によって異なります。
詳しくは別冊の『設計条件編』をご参照ください。

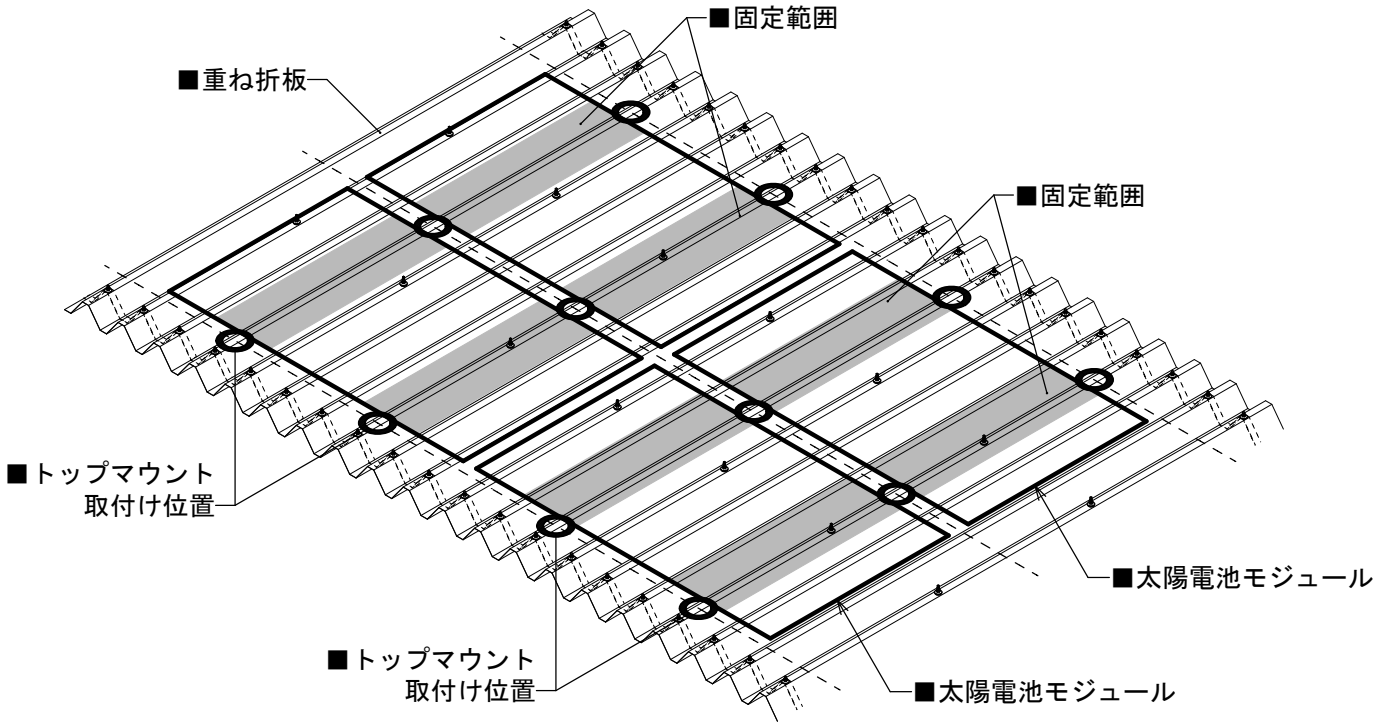
❗注　意

墨出し線を剣先ボルト(緊結ボルト)から150mm以上 離してください。
150mm未満の場合、剣先ボルト(緊結ボルト)と金具が干渉する恐れがあります。

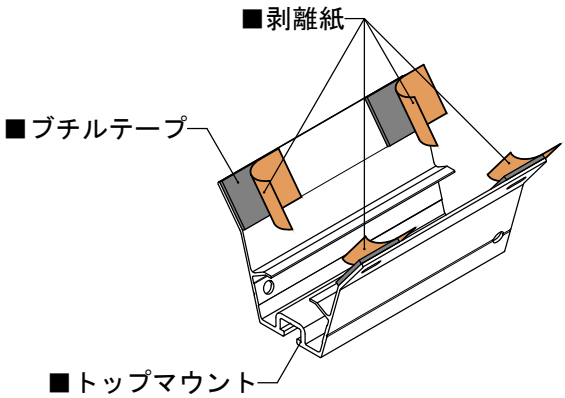


２）トップマウントの取付け

①太陽電池モジュールの設置位置と固定範囲を確認し、トップマウントの取付け位置を決めます。



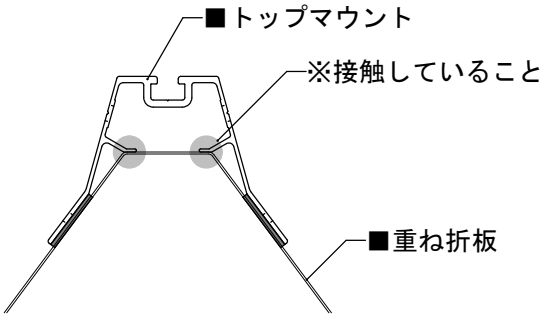
②トップマウントの裏面のブチルテープの剥離紙を剥がします。

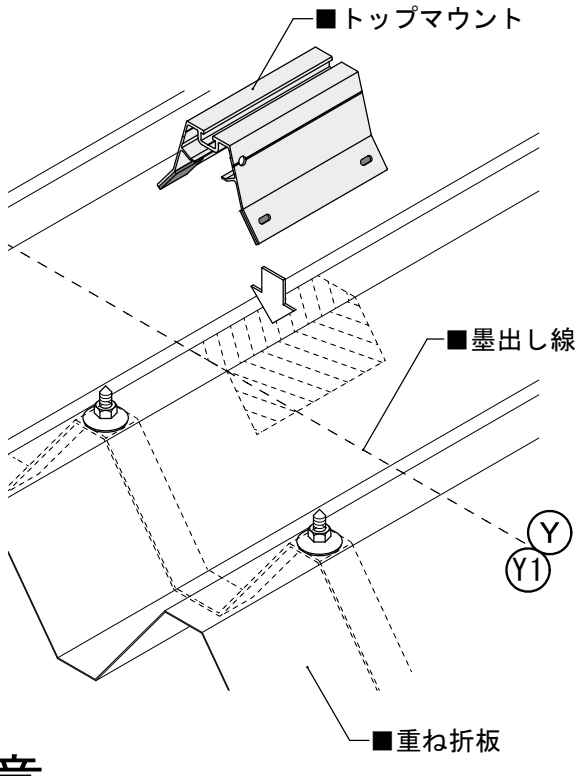


注　意

剥離紙が残った場合は、防水性が損なわれ雨漏りの恐れがあります。

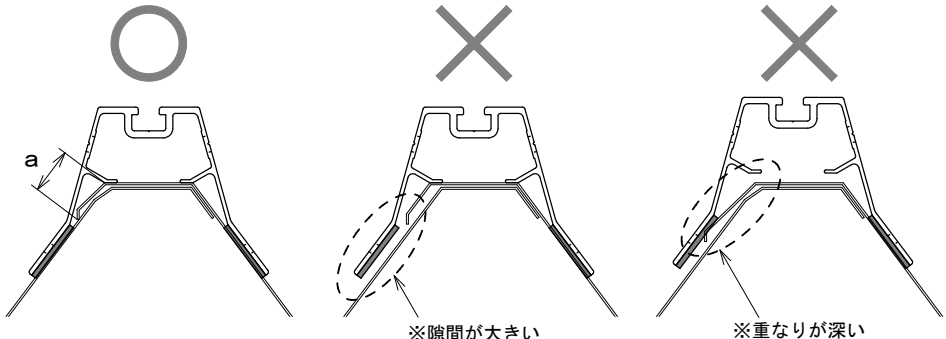
③墨出し線にトップマウントの端を合わせます。
この時、重ね折板の山の頂上とトップマウントが接触していることを確認してください。





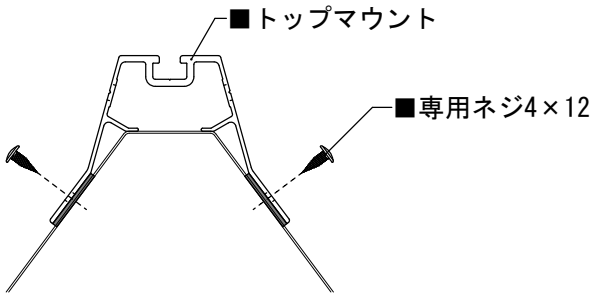
注　意

・重ね折板の重なり部は、トップマウントの剥離紙を剥がす前に金具と折板が合致することを確認してください。納まりが悪い場合は設置を避けてください。
・重ね折板の重なり深さａは、88折板の場合 21.7㎜以下であること、150折板の場合38㎜以下であることを確認してください。

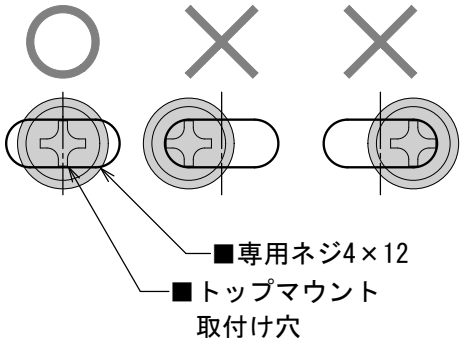


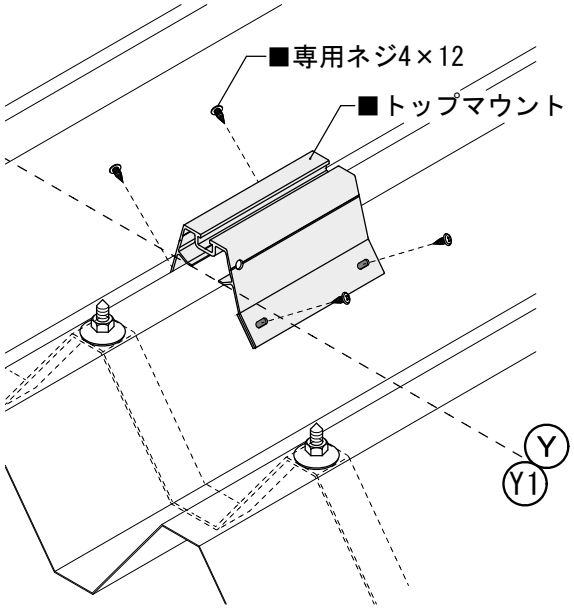
ａ:21.7㎜以下(88折板の場合)
38㎜以下(150折板の場合)

④トップマウントを上から押さえつけながら専用ネジ4.0×12で取付けます。



この時、取付け穴の中心に専用ネジ4.0×12を打ってください。

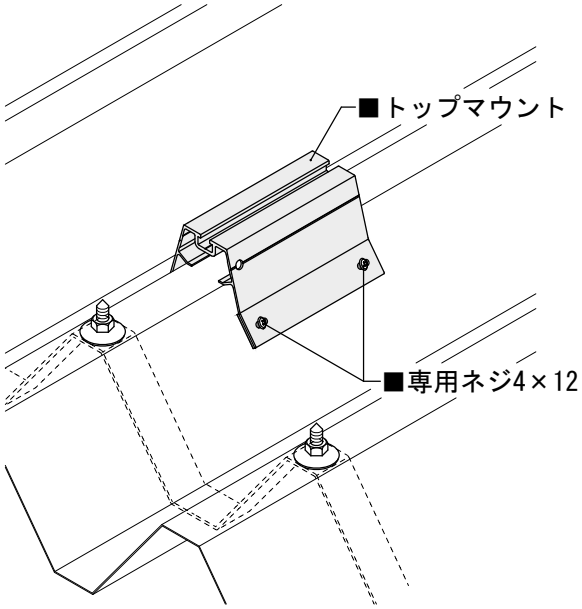




注　意

締め過ぎると空転します。
締め過ぎないように注意してください。

≪参考締め付けトルク1.3N･m≫

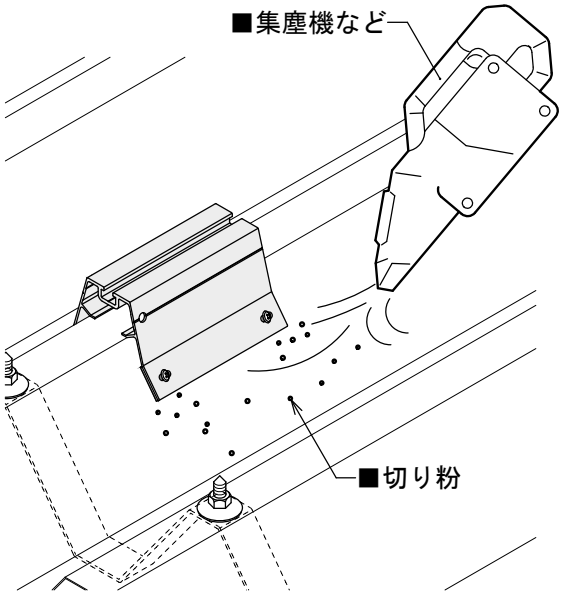


⑤専用ネジ4.0×12に緩みがないか確認してください。

⑥切り粉が出た場合、集塵機などで取除いてください。

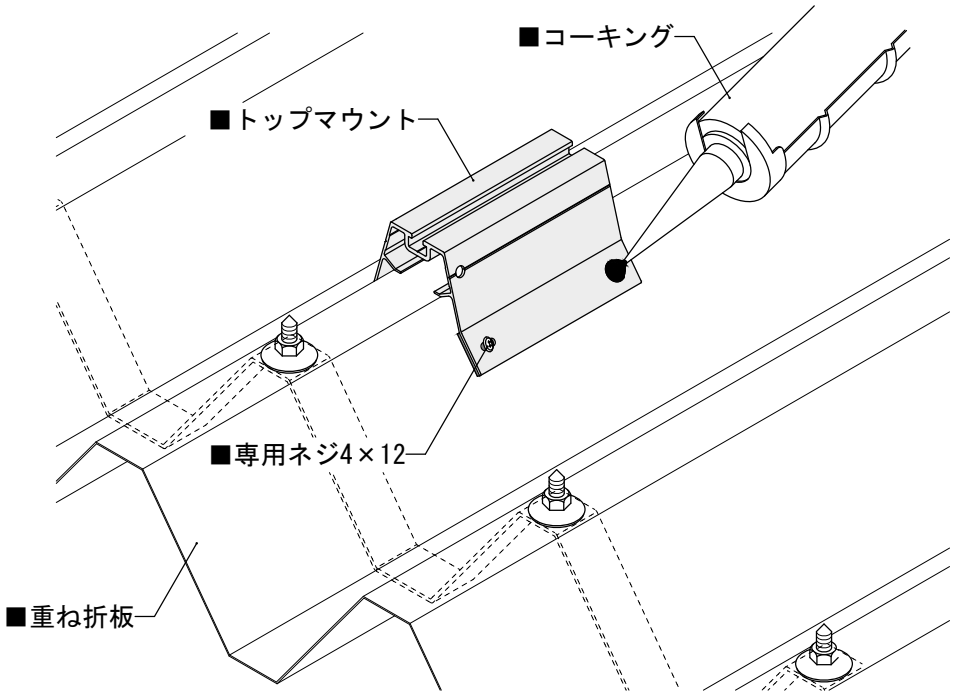
注　意

切り粉は必ず除去してください。
サビの原因となります。



３）コーキング

①専用ネジ4×12の全てのネジ頭にコーキングを施します。



⇒以降、太陽電池モジュールの施工については『太陽電池モジュール施工マニュアル』をご参照ください。